

ギリシアにおける科学の黎明期から、その後のあらゆる時代を通しての思想の歴史を辿ってみると、多種多様な生命の出現は全て共通の根から生じる花に過ぎない、つまり全ての複雑な形態は以前から存在しているより単純な形態から進化してきたのだという真理を、明確な見解としてではなくいわば直観的に感得したとも言うべき説が、入れ替わり立ち替わり何度も指摘されてきた事が分かる。